

平成30年度第1回経営協議会議事要録

日 時 平成30年4月18日(水)10時00分～11時17分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 石田, 飯村, 大橋, 北村, 五家, 須賀, 永野,
藤井, 茅野, 池田, 佐藤の各委員
陪 席 溝口監事, 堀監事, 松金学長特別補佐,
塚本地域デザイン科学部長, 佐々木国際学部長,
伊東教育学部長, 阿山工学研究科長, 夏秋農学部長

議事に先立ち, 参考資料1～3に基づき, 学長から新たに委員となった者の紹介並びに経営協議会の任務等及び平成30年度における理事等の担当業務について説明があり, 今年度の議事運営にあたっての挨拶と協力依頼があった。

続いて, 平成29年度第5回(H30.3.20)宇都宮大学経営協議会議事要録(案)を確認し, 原案の一部を修正のうえ, 承認した。

[議 題]

1. 国立大学法人宇都宮大学学長選考会議の委員選出について 資料1

学長から, 資料1に基づき, 国立大学法人宇都宮大学学長選考会議の委員選出について, 同選考会議規程第2条第1項第1号委員(国立大学法人宇都宮大学経営協議会規程第2条第1項第3号に規定する委員(学外委員)のうち, 経営協議会において選出された者5名)を選出願いたい旨の説明があり, 審議の結果, 飯村委員に選出のとりまとめを依頼し, 学長に報告願うこととした。

[報告事項]

1. 平成29年度教職大学院認証評価の評価結果について 資料2

藤井理事から, 資料2に基づき, 平成29年度教職大学院認証評価の評価結果について報告があった。

(主な意見)

- ・中学校及び高校の中堅教員を対象とした研修を行っているが, 学校現場を出て, 組織の中で目標達成のために一丸となって取り組むことを, 初めて体感したという声を聞くことがある。教員としては優秀であるが, 組織的に意思決定をするだけリーダーシップをとることが非常に課題となっている。もっと早い時期に研修を行うことで, より広い視点で社会の状況をみながら教育をする力が身につくのではないか。教職大学院で, 学校改革・授業改善のリーダー育成を目標としているならば, 企業でのインターンシップ等を取り入れることで, 身につく力があるのではないか。
- ・本来ならば学校組織の中で, リーダーシップの意識をもたせる必要があるが, 企業での研修を行うことで, 教員としても成長できる部分があるのではないか。教育委員会では, 企業への研修制度はあるが, 教職大学院の中で研修制度があると非常に有難い。短い期間でもいいので, 企業での経験をすることで, 教員としての目が変わってくると思う。(本学: 教職大学院だけでなく, 学部教育でも必要な課題だと考えている。カリキュラム体系が非常にタイトに決まっており, その中でどう組み込んでいくかが課題となっているが, 工夫して取り組んでいきたいと考えている。)

- 2. 平成 30 年度宇都宮大学入学者選抜実施結果について** **資料 3**
茅野理事から、資料 3 に基づき、平成 30 年度宇都宮大学入学者選抜実施結果について報告があった。
なお、今後は国費外国人を含む留学生の情報も追加した資料を作成することとした。
- 3. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科パンフレットについて** **資料 4**
茅野理事から、資料 4 に基づき、宇都宮大学大学院地域創生科学研究科パンフレットについて報告があった。
(主な意見)
・高校生が、大学院までを視野にいれながら大学を選ぶととてもいい P R 材料であるため、是非高校にも広報願いたい。
- 4. 工学部改組について** **資料 5**
工学部長から、資料 5 に基づき、工学部改組に係る文部科学省との事前相談の概要について報告があった。
- 5. 平成 30 年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果の公表について** **資料 6**
財務部長から、資料 6 に基づき、平成 30 年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果の公表について報告があった。
また、学長及び佐藤理事から、評価結果による補足説明があり、今後は評価指標を整理し、改善していく旨報告があった。
(主な意見)
・戦略の方向性がそもそも間違っていたのか。そうであったら戦略の見直しが必要ではないか。
(本学：戦略の方向性は間違っていないが、今回の反省から、戦略の進捗状況を的確に示すことが重要であると認識した。このため、評価指針の再検討を行い、変更する予定である。)
- 6. その他**
学長から、参考資料に基づき、平成 30 年 3 月から平成 30 年 4 月における本学関係記事について紹介があった。

以 上